

# 一般質問

## 採種園は民間でやるべき 官民連携もあり町が行う



△大原議員▽

先の全員協議会で北海道の特定母樹（クリーンラーチ）の採種園を整備すると報告があった。最初の球果採取まで二十数年。また事業費がほとんど示されていない中での決定です。

1. なぜ議会と協議しなかったのか。
2. 町民にどのような恩恵があるのか。

3. 事業費も分らない中、なぜ事業推進すると決めたのか。聞きたい。

△長屋町長▽

町面積の90%が森林で、十数年後には大規模な伐採・再造林が始まります。またクリーンラーチ（カラマツのF1）は国が認めた優良樹木で、苗木の需要が高いと考えます。

2. 採種園を持つことは、林業振興や資源の循環利用等、町のイメージアップに繋がる。

1, 3. 民間事業者には後継者問題、採種園適地がない等がある。また事業量や事業費が道と協議中で未確定であるため議会には報告としたが、予測される総事業費は約350万円で、町の持ち出しは約170万円です。種子の採種が始まれば相

応の収入もあるため町が推進すると決めた。

△大原議員▽

国の基本方針で除間伐・特定母樹の増殖事業推進が謳われ、様々な支援策が設けられている。町は、事業者主体になるのではなく民間事業者を支援することが、産業の育成や定住促進に繋がるのではないかと。

△長屋町長▽

民間が取り組むのが最善であるが、既存業者にも様々な問題がある。また母樹の増殖や育苗には特殊な技術が必要で、今回の事業については技術協力すると言っている。20年後の事を思うと、やはり町がやった方が良く考える。

△大原議員▽

森林の持つ公益的機能

能は理解している。しかしわが社も社有林を所有しているが、森林は安全な投資先と考えたことである。ほとんどの人がそうではないのか。

△長屋町長▽

民有林だけを考えると、森林組合が取り組むべきという考えもある。しかし森林には国・道・町有林もある。官民が連携を図らなければ



クリーンラーチ

### クリーンラーチとは

北海道道立試験場で開発された樹種で、優良な形質を持つカラマツと、グイマツをかけあわせ選抜することにより炭素の固定能力に優れた雑種F1（クリーンラーチ）を開発しました。

特徴としては、成長が早く、野ネズミ食害に強く、材密度が高い。

また、北海道では全道で平成32年度までに約3,700本増殖する計画を掲げこの度北海道の公募に際し、本町は12月3日特定増殖計画（採種園）の認定申請をしました。

れば、森林整備は進まない。それぞれが最善を尽くすと考えれば、特定母樹採種園は町が主体となる方が良くと思う。